

勉強しています。先日は兵庫県の「芦屋」と「小樽」の検定を受けました。「小樽」検定は合格すると公的な施設使用料が全て無料で、寿司が半額。

藤井 ええ!?

橋本 そうなればいいなと思って(笑)。

藤井 (笑)

橋本 そう都合よくはいかないけど、石原裕次郎記念館の入場料が一〇%オフです。

「芦屋」の検定では、「博士の愛した数式」の著者・小川洋子さんが住んでいること、谷崎潤一郎の記念館があることも分かりました。十二月には「京都」の試験があるので、まず三級を受けようと思います。

●公私の切り替えて余暇を満喫

藤井 アクティブでいらっしやるから、ご趣味もたくさんおありでしょう。

橋本 登山、ワイン、エッセイの執筆、絵の収集が好きですが。

藤井 登山を始めたきっかけは?

橋本 平成四年に行った屋久島です。縄文杉を見たいと思ったら、縄文杉が山の上にあつたから仕方なしに登りました(笑)。

藤井 これまで登られた山は?

橋本 最初は三角山など小規模なものから始め羊蹄山、利尻山などです。青木商事の専務だった故八柳鐵郎さんに、『先生、三角山ぐらいで登

山してらって言わないほうがいいですよ』って笑われました。

今年知床の羅臼岳と富士山にも登る予定なので今から楽しみです。家内は登山に賛成していないようですが、一度リュックから虫が出てきたのがトラウマになつてみるみたい。

藤井 かわいらしいですね(笑)。

藤井 ワインに熱中されたのはいつから?

橋本 平成十二年です。ワイン講座のパンフレットを見て、ワインの学校に通いました。今度、シニア・ワインエキスパート資格の試験に挑戦しようと思っています。

藤井 先生は余暇を満喫されていらっしやいますね。本当に病院の開設者ですか(笑)。

橋本 平成元年の開設以来、今年で二十年目です。

藤井 オン・オフ、切り替えの速さのたまたものなんじゃないですか。すごい!

橋本 好きなことに没頭できる時間がなければ、診療ばかりだとおかしくなっちゃいますよ。

藤井 私も忙しくて



これまで出版した三冊の本

頭の血管が切れそうなきががあります(笑)。

●国民に医療現場の実態を知って欲しい

藤井 医師数の不足、看護師の配置など、医療の最前線は激務です。

橋本 政策誘導の必要性もわかりますが、厚生行政の根幹がコロナコト変わっては元も子もない。介護保険も特定健診もわかりです。

藤井 医療の問題だけでなく、国民の生活実態も考えないとだめですね。

橋本 国民の医師に対する視線は厳しい。ただ「医師は大変」といっても駄目。何に苦勞しているのか実態を知ってもらわないと。

例えば勤務体系。丸一日安眠もできずに頑張っている先生方もたくさんいますし、急性期病院なんて二人で一日おきに当直してるケースもあるでしょう。一、二年なら頑張っても、十年は続けられない。

藤井 二十四時間、医師の実態に密着した番組をやるべきですよ。

橋本 エリートとか優秀さばかりが強調されていて、仕事の大変さが見えない。でも疲弊した医師の映像じゃ視聴率が取れないんじゃないですか(笑)。

インタビューを終えて

驚くべき行動力。みなもとは好奇心

常任理事

藤井美穂

興味のあることはどんどん挑戦する先生は、まさに好奇心のかたまり。人生を楽しむヒントをいただきました。

軽快なテンポとオチのある話に笑えばなしで、日頃の疲れも吹き飛んだインタビューでした。

●北海道に戻りたくて
札幌医大に進学

藤井 先生の生い立ちを教えてください。
橋本 出身は上川郡和寒町です。小学校六年生の時に本州に転居、十一年間いました。北海道に戻りたくて札幌医大に入学したんです。
藤井 脳神経外科のご出身だそうですが、脳外を選ばれた理由は？
橋本 当時は、器質的疾患の学べる神経内科が脳外科の一部門としてありましたので。祖父が精神病院をやっており、いずれ精神科に進もうと思っていました。



生年月日 昭和27年2月27日
出生地 上川郡和寒町
出身大学 札幌医科大学 昭和55年卒
北海道大学大学院医学研究科
好きな言葉 「天は自ら助くるものを助く」

藤井 精神科をやりたいかかった？
橋本 祖父の病院を継ぐのであれば精神科かなと漠然と思っていました。
今、私の病院（苫小牧東病院）ではリハビリテーションを中心に取り組んでいます。脳外科に進んだことが結果的には、脳血管障害後遺症のリハビリを行うきっかけになりました。

●出版、サイバー大学、ご当地検定
尽きない探究心

藤井 忘れられない思い出はありますか？
橋本 本の出版と出版会を開いていただきました。とです。これまでエッセイ集を二冊出しました。



三浦綾子記念文学館 開館祝賀会
(平成10年6月13日、旭川パレスホテル) にて

また友人である名寄市立大学の小山充道教授との共著で「失語症・回復への声」という本も執筆させていただきました。来年また新しい本を出そうと思っております。



ビデオナミーの生みの親、ニコラ・ジョリー氏(ヴァル・ド・ロワール)

藤井 文章を書くのがお好きなんですね。本を上梓された反響は？
橋本 印税で一時金をいただいたんですがね。それで友人の作家・小椋山博先生なんかを誘って飲みに行ったらすぐ赤字になりました(笑)。
藤井 先生はサイバー大学に所属されているようですが、ご専攻は？
橋本 世界遺産学部です。
藤井 うわあ、私も入学したい。老後の楽しみは世界遺産を巡ることなんです。
橋本 是非入ってください！ 紹介すると私にも金一封が入りますので(笑)。僕と一緒に世界遺産アカデミーの試験を受験しましょう。
また、日本各地で行われているご当地検定に関心があります。日本を学ぶのに役立つと思っ